

令和 8 年度 和歌山大学教職大学院運営協議会（第 1 回） 概要

日 時 令和 8 年 9 月 28 日（月） 15:00～16:30

場 所 和歌山大学東 3 号館 中 505 第 2 会議室（和歌山市栄谷 930）

出 席 藤田勝範 和歌山県教育委員会学校教育局長（代理：中井章博学校教育局義務教育課長）、木村一紀 和歌山市立伏虎義務教育学校長、松本潤 北山村立北山小・中学校長、岸田正幸 和歌山信愛大学教授、山崎由可里 教育学研究科長／教授、中川靖彦 教職大学院専攻長／教授、豊田充崇 教職大学院副専攻長／教授、山下真司 特任教授（学校改善マネジメントコース長代理）、福永徹 准教授（授業実践力向上コース主任）、竹澤大史 教授（特別支援教育コース長）

陪席：門田充浩 学務課学部等支援室教育学部分室長

欠 席 西谷宣昭 和歌山市教育委員会学校教育部長

概 要

（1）研究科長挨拶

山崎研究科長から挨拶があった。

（2）出席者紹介

各自自己紹介をした。

（3）報 告

①本年度の運営体制等について

中川専攻長より、資料 1 のとおり説明があった。

②教職大学院カリキュラム

中川専攻長より、パンフレットに基づきカリキュラムの説明があった。

今年度は、研究指導にも力を入れている。

③本年度の入学状況及び募集状況について

豊田副専攻長より、資料 2 のとおり説明があった。

令和 9 年度第一次募集では、広報活動を強化したこともあり、和歌山大学教育学部生の合格者が 7 名に増加するとともに全体でも 17 名の合格者があった。

④ストレートマスターの就職状況について

福永コース主任より、資料 3 のとおり説明があった。

⑤教員採用試験の状況について

福永コース主任より、資料4のとおり説明があった。

⑥修了生及び管理職アンケート結果について

豊田副専攻長より、資料5のとおり説明があった。

教職大学院入学前と修了後の違いがどれだけみられるか（研修転移）を意識した内容のアンケートにしてみてもどうかという意見があった。

⑦「学校実践支援ユニット」について

豊田副専攻長より、資料6のとおり説明があった。

⑧その他報告

（ア） 特別支援教育充実について

中川専攻長より、口頭で報告があった。

（イ） 学部教員採用試験推薦試験合格者の指導について

中川専攻長より、口頭で報告があった。

（４） 質疑応答／協議

- ・教職大学院では、教員の専門性を高めるとともに、コンプライアンスが重視されるなか社会人になっていくということも指導してほしい。
- ・特別支援学級のニーズが高まっているため、特別支援という目で子どもを見れるよう、教職大学院で力をつけてほしい。
- ・ニーズの割にはまだまだ教員が不足しているため、特別支援に力を入れてほしい、特別支援学級を運営できる中核となる力量を持った教員を育成してほしい。
- ・呼び水となるような講座を開いて教職大学院の認知度を上げていってほしい。
- ・県では小規模校化が進み、それに伴う研修のニーズが高まっている。そういったテーマについても何か考えてほしい。
- ・教職大学院の定員 30 名確保のため、学校現場の先生から、教職大学院の先生の顔が見えるつながりを密にしていくこともしていってほしい。一方定員の適正化も検討が必要ではないか。

（５） 閉会（次回日程について）

次回は令和9年3月（年度末）に予定。